

## ニュース速報

# 「IGS 理事選挙：5月に郵便投票」

インターネット上のIGSホームページの告示（3月9日付）によれば、本年5月に行われるIGS理事選挙に立候補したのは、最終的に以下の10人である。このリストから8人の新理事を郵便投票によって選ぶこととなる。

Toshinobu Akagi (日本)	Barry R. Christopher (米国)
Hyung-Sik Chung (韓国)	Jean Lafleur (カナダ)
Chris Lawson (マレーシア)	James Paul (英国)
Wang Tie Ru (中国)	Alberto M. Scuro (イタリー)
Giuseppe Sembenelli (イタリー)	C. V. J. Varma (インド)

上記の各候補者の略歴は、ホームページ (<http://igs.rmc.ca>) に含まれているが、間もなく本部から郵送されてくる I G S NEWS 3月号にも掲載される。

IGSの内規によれば、郵便投票による理事選挙の方式は以下のごとくである。今回は5月に各会員に対し、候補者全員の名前が印刷された郵便投票用紙が直送されて来る。日本支部としては念のため、この時点で我が国の全会員に対し、具体的な投票手順などについて、日本語の解説文を配布する予定である。棄権は出来るだけ避けるよう、お願いしておきたい。

投票者は自らの好みの候補者に対して1, 2, 3, ... nと順位を付ける。ここでnは定員数8であるが、必ずしも8位までの順位を付ける必要はない。この投票用紙は、締切日までに各会員が直接本部へ返送しなければならない。開票事務は事務局長 (P. E. Stevenson) の責任下で実施されるが、会長によって承認された少なくとも2人の会員が投票結果を確認する。投票結果のカウントは次のように行われる。投票用紙上に印刷されている候補者名に対して、1, 2, 3, ... nまでの順位が付けられていると、1の番号を付された候補者にはn点、2の番号を付された候補者にはn-1点、...、nの番号を付された候補者には1点が与えられる。ブランクのまま順位を付けて貰えなかった候補者は0点となる。このようにして各候補者が得た点数を総計し、総得点の順番で当選が決定する。

本年3月現在、会長 C. J. F. P. Jones (英) 以下の役員は、R. J. Bathurst (加)、R. K. Rowe (加)、P. E. Stevenson (米)、W. Voskamp (蘭) の5人。1994年に選出され2年余の任期を残している理事は、D. Cazzuffi (伊)、J. Collin (米)、M. Fukuoka (日)、J-P Gourc (仏)、G. Heerten (独)、R. D. Holtz (米)、G. P. Karunaratne (シンガポール)、P. Rimoldi (伊)、F. Tatsuoka (日) の9人。新たに選ばれる8人の新理事の任期は、本年7月から4年間である。